

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (工業)	高度 IT ビジネス科	夜・通信	1,665	320	
	コンピュータ科	夜・通信	420	160	
	ゲームクリエイト科	夜・通信	1,485	240	
	CG デザイン科	夜・通信	1,890	240	
専門課程 (商業実務)	ビジネス科	夜・通信	1,410	160	
	公務員科1年制	夜・通信	120	80	
	公務員科2年制	夜・通信	210	160	
	医療事務科	夜・通信	780	160	
	国際ビジネス科	夜・通信	280	240	
専門課程 (教育・社会福祉)	こども保育科	夜・通信	1,850	240	
専門課程 (衛生)	製菓・製パン科	夜・通信	2,190	160	
(備考) 国際ビジネス科については、2019年度よりの開設の3年制学科であり、今年度は1年生のみの在籍となっている。2、3年生の授業担当者は今年度中に決定される予定である。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

[高度 IT ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_T.pdf
[コンピュータ科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_C.pdf
[ゲームクリエイト科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_G.pdf
[CG デザイン科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_M.pdf
[ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_B.pdf
[公務員科 1 年制] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_J.pdf
[公務員科 2 年制] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_K.pdf
[医療事務科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_A.pdf
[国際ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_U.pdf
[こども保育科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_Y.pdf
[製菓・製パン科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/WE_P.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ (http://www.sist-net.ac.jp) にて公開中の事業報告書に記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	平成29年10月1日～ 令和元年9月30日	学校法人運営についての意見 財務担当
非常勤	株式会社役員	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日	学校法人運営についての意見 情報 IR 担当
(備考) 学外者である理事は上記の2名を含め合計8名。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校（全学科）
設置者名	学校法人静岡理工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程および公表について</p> <p>4月～ 次年度授業計画策定</p> <p>4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・ 授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 <p>7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正</p> <p>3月～ 授業計画（シラバス）公表</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>[高度 IT ビジネス科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/T2019.pdf</p> <p>[コンピュータ科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/C2019.pdf</p> <p>[ゲームクリエイト科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/G2019.pdf</p> <p>[CG デザイン科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/M2019.pdf</p> <p>[ビジネス科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/B2019.pdf</p> <p>[公務員科1年制]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/J2019.pdf</p> <p>[公務員科2年制]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/K2019.pdf</p> <p>[医療事務科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/A2019.pdf</p> <p>[国際ビジネス科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/U2019.pdf</p> <p>[こども保育科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/Y2019.pdf</p> <p>[製菓・製パン科]</p> <p>https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/P2019.pdf</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各学科の定めるディプロマポリシー（卒業認定・高度専門士／専門士授与の方針）に掲げる資質・能力の習得状況等は、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）の「成績評価の方法」掲げる方法に加え、学生生活上の客観的な指標、卒業対象学生に行うアンケート調査の状況、各種資格取得状況・制作した作品のレベルと志望進路状況（専門領域への就職率および進学率等）から学業成果の達成状況の評価する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = $((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/Perfindex.pdf
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
 - 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
 - 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。
- 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>[高度 IT ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_T.pdf [コンピュータ科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_C.pdf [ゲームクリエイト科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_G.pdf [CG デザイン科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_M.pdf [ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_B.pdf [公務員科 1 年制] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_J.pdf [公務員科 2 年制] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_K.pdf [医療事務科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_A.pdf [国際ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_U.pdf [こども保育科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_Y.pdf [製菓・製パン科] https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/DP_P.pdf</p>
------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_02-H30.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_03-H30.pdf
財産目録	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_01-H30.pdf
事業報告書	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan02_01-H30.pdf
監事による監査報告（書）	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan03_02-H30.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	コンピュータ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間/単位	1,050 単位時間 /単位	1,350 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,400 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		120人	0人	4人	12人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
(概要) 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2

可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×科の科目数)) ÷ 科目数

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

(概要)

- ・ 指導教員との面談
- ・ 習熟度別の補習
- ・ 勉強会

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)		その他
54人 (100%)	0人 (0%)	53人 (98.1%)	1人 (1.9%)	
(主な就職、業界等) テックインフォメーションシステム(株)、(株)コスモコンピューティングシステム、(株)メトロ、(株)建設システム、エスプラネット(株)など				
(就職指導内容) 自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話・メールでの問い合わせ他				
(主な学修成果（資格・検定等）) 基本情報技術者試験 13人 C言語検定2級 10人 CompTIA 34人				
(備考) (任意記載事項)				

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118人	3人	2.5%

(中途退学の主な理由) 進路変更の為
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	高度 IT ビジネス科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,720 単位時間/単位	2,010 単位時間 /単位	1,710 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		3,720 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	72人	0人	3人	22人	25人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)																				
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3月～ 授業計画 (シラバス) 公表																				
成績評価の基準・方法																				
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0～100点) による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																	
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																	
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																	
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																	
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																	
成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数																				
卒業・進級の認定基準																				
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。																				

<ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・勉強会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
-人 (-%)	-人 (-%)	-人 (-%)	-人 (-%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話・メールでの問い合わせ他			
(主な学修成果（資格・検定等）) 安全確保支援士試験1名、ネットワークスペシャリスト試験1名、データベーススペシャリスト試験1名、応用情報技術者試験7名、基本情報技術者試験18名、ITパスポート25名 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	1人	1.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	CGデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,090 単位時間/単位	510 単位時間 /単位	2,460 単位時間 /単位	780 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,750 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		77人	0人	3人	17人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程および公表について</p> <p>4月～ 次年度授業計画策定</p> <p>4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 <p>7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正</p> <p>3月～ 授業計画（シラバス）公表</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p>			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>			

学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・勉強会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	12人 (75%)	4人 (25%)
(主な就職、業界等) 株式会社リズ、オールド株式会社、株式会社広宣社 他デザイン関連企業、IT 関連企業			
(就職指導内容) 自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話・メールでの問い合わせ他			
(主な学修成果（資格・検定等）) CGクリエイター検定ベーシック 16名、CGクリエイター検定エキスパート 4名 色彩検 3級 14名、色彩検定 2級 3名、DTP 検定 5名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	3人	4.7%
(中途退学の主な理由) 病気療養、進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による出欠席状況の管理と指導。面談の実施。カウンセリング。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	ゲームクリエイト科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,060 単位時間/単位	510 単位時間/単位	2,520 単位時間/単位	540 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		3,570 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	81人	0人	2人	12人	14人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）の作成過程および公表について

4月～ 次年度授業計画策定

4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼

・授業計画（シラバス）テンプレート配布

・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明

7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック

9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正

3月～ 授業計画（シラバス）公表

成績評価の基準・方法

（概要）

成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = $((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$

卒業・進級の認定基準

（概要）

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

（概要）

- ・指導教員との面談
- ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

19人 (100%)	0人 (0%)	19人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) エキスパートパワーシズオカ、トランスコスモス・テクノロジーズ、電算インフォメーション、システムデザインカンパニー、ドリームス、テクノプロ、アイ・エス・ビー、エヌビーシーアルプスビジネスサービス、エイジェック、玉吉製作所、アール・エム、ドキドキグループワークス、アウトソーシング、エイジェック			
(就職指導内容) ・指導教員・就職担当職員による面接指導 ・学校全体による SPI 試験や適性検査の実施 ・学校による独自の就職ガイダンスの開催			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報技術者試験 1 人 C 言語検定 2 級 10 人 CG エンジニア検定エキスパート 1 人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71 人	5 人	7.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた 3 者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議に生徒動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている生徒に対し、学校専属のカウンセラーにて週 1 回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	医療事務科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2 年	昼	2,040 単位時間/単位	420 単位時間/単位	1,470 単位時間/単位	150 単位時間/単位	単位時間/単位
		2,040 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人		56 人	0 人	2 人	13 人	15 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程および公表について</p> <p>4月～ 次年度授業計画策定</p> <p>4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 <p>7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正</p> <p>3月～ 授業計画（シラバス）公表</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p>			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導 			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

20人 (100%)	0人 (0%)	20人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療法人社団親和会 西島病院 一般社団法人芙蓉協会 聖隷沼津病院 ほか			
(就職指導内容) 就活ゼミでの面接指導や履歴書の書き方指導をはじめ、スーツ講座、メイク講座、模擬面接で就職活動の基本を身に付ける。また、校内企業ガイダンスに参加することで、実践的な企業研究を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 診療報酬請求事務能力認定試験 11名 医療秘書技能検定準1級 6名 医療秘書技能検定2級 18名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	4人	8%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制を導入し、担任が毎日の出席チェックをしている。また、授業の欠課数に応じ、保護者連絡や保護者を交えた三者面談を行っている。更に、毎週の系会議や運営会議にて学生動向を報告し、対応策を検討している。学校カウンセラーの配置や、相談室の設置もあり、悩み相談の窓口を複数設けている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2,040 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼		420 単位時間 /単位	1,470 単位時間 /単位	150 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		2,040 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		44人	1人	3人	10人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明	

7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック
9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正
3月～ 授業計画（シラバス）公表

成績評価の基準・方法

（概要）
成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

$$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$$

卒業・進級の認定基準

（概要）
本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

（概要）
・指導教員との面談
・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)

（主な就職、業界等）
沼津信用金庫、学校法人静岡自動車学園、静岡日野自動車株式会社、株式会社平安、株式会社大都技研 他

(就職指導内容) 就活ゼミでの面接指導や履歴書の書き方指導をはじめ、スーツ講座、メイク講座、模擬面接で就職活動の基本を身に付ける。また、校内企業ガイダンスに参加することで、実践的な企業研究を行う。
(主な学修成果(資格・検定等)) ファイナンシャルプランニング技能検定 14名 簿記検定 14名 秘書検定 17名 リテラマーケティング検定 8名 コンピュータ会計能力検定 20名
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	1人	2.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議にて学生動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている学生に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	こども保育科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,135 単位時間/単位	1,045 単位時間/単位	1,760 単位時間/単位	330 単位時間/単位	3,135 単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		90人	0人	4人	25人	29人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画(シラバス)の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画(シラバス)回収・チェック 9月～ 授業計画(シラバス)見直し・修正 3月～ 授業計画(シラバス)公表

成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0~100点)による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80~100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70~79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60~69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0~59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
<ul style="list-style-type: none"> ● 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ● 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ● 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
(概要) ・ 指導教員との面談 ・ 家庭連絡により保護者と連携して指導			

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	29人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 沼津市役所、たかおか認定こども園、原町保育園、ひな保育園、こずわ幼稚園、象山幼稚園、恵明学園乳児院 等			
(就職指導内容) ・ 指導教員・就職担当職員による面接指導 ・ 学校全体による SPI 試験や適性検査の実施 ・ 学校による独自の就職ガイダンスの開催			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 幼稚園教諭 2 種免許 22 人 保育士 24 人 社会福祉主事任用資格 29 人 幼稚園・保育園のためのリミック指導資格 1 級 25 人 幼児体育指導者資格 7 人 (備考) (任意記載事項)
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	4 人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた 3 者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議に生徒動向について報告、対応策を検討している。 また、精神的な悩みを持っている生徒に対し、学校専属のカウンセラーにて週 1 回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	製菓・製パン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,340 単位時間/単位	1,290 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,340 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		46 人	1 人	3 人	11 人	14 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画策定 4 月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7 月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9 月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3 月～ 授業計画 (シラバス) 公表
成績評価の基準・方法
(概要) 成績は、科目ごと 4 段階評語 (優・良・可・不可) 、素点 (0~100 点) による評価で表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4 段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

(概要)

- ・指導教員との面談
- ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

株式会社小田急リゾート、株式会社バンデロール、R&Mリゾート株式会社、アンドロワ・パレ、ガトー・ド・ボワ等

(就職指導内容)

- ・指導教員・就職担当職員による面接指導
- ・学校全体によるSPI試験や適性検査の実施
- ・学校による独自の就職ガイダンスの開催

(主な学修成果（資格・検定等）)

製菓衛生師 15名 サービス接客検定2級 8名

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	4人	9.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議に生徒動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている生徒に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		専門課程	公務員科1年制		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
1年	昼	1,020 単位時間/単位	810 単位時間/単位	210 単位時間/単位	1,020 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10人	3人	0人	2人	10人	12人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)			
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3月～ 授業計画 (シラバス) 公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0～100点) による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数)) ÷ 科目数			

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	4人 (66.7%)	2人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 官公庁、製造業			
(就職指導内容) 面接対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) Microsoft Office Specialist Excel (4人)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	公務員科 2年制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間/単位	1,770 単位時間 /単位	270 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,040 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		35人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)			
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3月～ 授業計画 (シラバス) 公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0～100点) による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用すること			

<p>ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
学修支援等
(概要) 指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	1人 (9.1%)	9人 (81.8%)	1人 (9.1%)
(主な就職、業界等) 官公庁、製造業			
(就職指導内容) 面接対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 漢字検定（4人）、ワープロ検定（15人）、文章検定（16人）、色彩検定（1人）、 Microsoft Office Specialist Excel（8人） Microsoft Office Specialist Access（1人）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	国際ビジネス科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
3年	昼	2,430 単位時間／単位	講義 1,730 単位時間 /単位	演習 770 単位時間 /単位	実習 単位時間 /単位	実験 単位時間 /単位	実技 単位時間 /単位

			2,430 単位時間／単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	20 人	20 人	2 人	6 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程および公表について</p> <p>4月～ 次年度授業計画策定</p> <p>4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 <p>7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正</p> <p>3月～ 授業計画（シラバス）公表</p>																							
成績評価の基準・方法																							
<p>（概要）</p> <p>成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数＝$((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$</p>				評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																				
卒業・進級の認定基準																							
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>																							
学修支援等																							
<p>（概要）</p> <p>指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会</p>																							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 （-%）	-人 （-%）	-人 （-%）	-人 （-%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本語能力試験、サービス接遇検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
高度 IT ビジネス科	250,000 円	840,000 円	円	
コンピュータ科	250,000 円	920,000 円	円	
ゲームクリエイト科	250,000 円	920,000 円		
CG デザイン科	250,000 円	960,000 円		
ビジネス科	200,000 円	920,000 円		
医療事務科	200,000 円	920,000 円		
公務員科	200,000 円	920,000 円	円	
こども保育科	200,000 円	700,000 円		
製菓・製パン科	200,000 円	980,000 円		
国際ビジネス科	150,000 円	680,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
本校では人物、学力に優れ、他の模範となるであろうと認められる者に対し、学費を優遇する特待生制度がある。本校の行う特待生入試の試験結果に基づき特待生・準特待生 A・準特待生 B・準特待生 C を認定する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/201906evaluation.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な評価項目 (1)教育理念・目標 (2)教育活動 (3)教育成果 (4)学生支援 (5)教育環境 (6)学生の募集と受入れ (7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守 (8)社会貢献・地域貢献、国際交流 ・評価委員会の構成 定員：8名 (企業/関連団体：6名 地域・教育関係：2名) ・評価結果の活用方法 評価結果について、校長 (責任者) を中心とした運営委員会で改善方を検討し、可能な範囲で可能な限り早期に改善を実施する。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 沼津法人会	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	地域団体
静岡県立富士宮北高等学校	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	地域住民及び教育関係
株式会社ディスタンス・インターナショナル	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	クリエイト系関係者

ランアンドケントス株式会社	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	IT系関係者
株式会社KTSオペレーション 沼津 リバーサイドホテル	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	ビジネス系関係者
社会福祉法人 羊之舎恵愛会 恵愛 保育園	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	教育系関係者
株式会社 雅心苑	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	製菓系関係者
医療法人社団 真養会 田沢医院	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	医療系関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/201906evaluation.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2019/07/2019information.pdf
--